

いきいき餅つき大会

威勢良く「よいしょ」 つきたての餅味わう

北見の老健施設

北見市の介護老人保健施設「いきいき」(田中昌博施設長)で14日、餅つき大会が開かれ、地元ボーイスカウトのメンバーたちが臼ときねを使って餅をつき上げた。

毎年12月に行われている恒例行事で、ボランティアとしてボーイスカウトの北見第2団と北見信金御町支店の職員計約20人が参加した。

会場には3組の臼ときね、もち米約4kgが用意された。施設の利用者約10

0人が見守る中、「よいしょ」という威勢のいいかけ声に合わせ、ボランティアたちがきねを振り下ろした。出来上がった餅は汁粉として振る舞われた。一部

は丸めて鏡餅として飾る。施設利用者の名和章子さん(80)は「思い出に残る楽しい行事が見られてうれしいです」と笑顔で話していた。(菊池圭祐)



施設利用者が見守る中で餅をつくボランティアたち



